



まちたんけん

子育てカレッジ「チュッピーひろば」



大学生に絵本を読んでもらっている米美陽ちゃん（3歳）。お母さんの仁奈さん（地頭片山）は「学生さんが来てくれて、いろんな人と接することができ、子どもも喜んでます」と教えてくれました。

岡山県立大学には、親子で交流できる遊びの部屋「チュッピーひろば」があります。ここでは、妊婦さんや乳幼児のいる家庭の人が集い、おしゃべりを楽しんだり、子育てのお話を聞いたりできる「つどいの広場」を週1、2回、開催しています。

部屋には、絵本や遊具もいっぱい用意されています。床は畳と暖房付きのフローリング。赤ちゃんが思い切りハイハイしても気にならず、子どもにも目が届くちょうどよい広さです。部屋の外側にはウッドデッキもあり、天気の良い日は外遊びもできます。

ときには、大学生のお兄さんやお姉さんが来ることもあり、子どもたちは大はしゃぎで遊んでいます。大学祭やクリスマス会など、大学が企画する催しもあり、学生と親子が交流する機会が多いのも、大学内の部屋ならではのことで。また、つどいの広場の開催日は、大学の学生食堂に子ども用のいすが用意されています。親子でちょっとしたキャンパスライフを楽しんでみては。

問い合わせ ともも課母子保健係（☎92-8261）

## 絵本よんで！

『くまのこ くまきち』  
中川梨枝子・作 柿本幸造・絵  
ひさかたチャイルド



## 今日のテーマ 「題材 その2」

3歳から4歳すぎくらいになると、身近な題材がテーマの絵本なら、おはなしの登場人物に自分を重ねながら、絵本を楽しむことができるようになります。物語絵本とのつきあいが始まる時期です。

また、「自分で」という意識が強くなる時期でもあります。子どもたちは、自分の力で何かを成功させたとき、成長が確認できるという内容に満足を感じます。

輝いている人

総社が元気になることが大切  
楽しんで盛り上がろう



総社ドッグでギネス記録に挑戦する  
総社市民まつり実行委員会委員長

松本 明さん（総社）

8月6日に高梁川河川敷グラウンドで開催される総社市民まつり雪舟フェスタの実行委員長を務めるのが松本明さんだ。

「ご当地グルメで総社を全国にアピールしたい」。前祝祭が行われる総社宮で7月30日、ホットドッグの長さのギネス記録に、ご当地グルメの総社ドッグで挑戦する。目標は137m。「パンもソーセージも一本ものでないといけない。これがたいへん」と話す。

試行錯誤の結果、パンは、キヤスター付きの手作りのオープンを移動させながら焼くことになった。総社産の農産物や製品を2品以上使用したホットドッグ「総社ドッグ」で挑戦を決めて以来、実行委員会のメンバーと知恵を出し合う日々が続く。「絶対に成功させた」と力を込める。

雪舟フェスタは、総社の夏の一大イベント。見所は、ステージを中心に二重の輪になっておどる総おどりや、毎年盛り上がるええとこ囃しコンテストだ。「本当は自分も出たい。盛り上がるし楽しいし」と話す。また、詳しいことは話せないと前置きしながら、「フイナールの花火は、楽しんでもらえる演出をしようと考えている」とにっこり。

雪舟フェスタの副題には『がんばろう日本！心ひとつに』を掲げた。募金箱を設置し、東日本大震災の被災地への支援を呼び掛ける。震災直後に被災地に入り仲間と炊き出しをした松本さん。「まず、総社が元気になることが大切。皆さん、会場に足を運んで、しっかり楽しんで盛り上がってください」とメッセージをくれた。